

- 問1 2020年の日本の貿易において、輸入総額に占める品目別割合の内訳を説明した文章として、正しいものはどれですか。なお、この年の統計では、電気機器や通信機といった「機械類」が全体の約27.1%を占めています。 (2022年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 機械類が約4分の1を占め、次いで石油、医薬品などが主な品目となっている | 2. 自動車や鉄鋼が輸入品目の上位を独占し、輸出額を大きく上回っている | 3. 繊維品が全体の約3割を占め、高度経済成長期と同様の構成となっている | 4. 原綿や羊毛などの天然繊維の原料が、輸入総額の過半数を占めている |
|--|-------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
- 問2 日本の食料自給率において、肉類の自給率がおおむね30から50パーセント前後の低い水準で推移している主な理由として最も適切なものはどれですか。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 食生活の変化によって消費量が増加したのに対し、国内での生産量がそれに追いついていないため。 | 2. 輸入制限が非常に厳しく、海外からの輸入肉類がほとんど国内で流通していないため。 | 3. 飼料のほぼ100パーセントを国産でまかなうことができ、国内生産量が消費量を大幅に上回っているため。 | 4. 国内での肉類の消費量が年々著しく減少しており、国内の畜産業が急速に衰退したため。 |
|--|--|--|---|
- 問3 大阪府や兵庫県を中心に広がる工業地帯の特色について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。製造品出荷額の内訳において、金属、機械、化学がバランスよく含まれ、食料品や繊維の割合も一定の割合を維持している状況をふまえて答えてください。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|------------|-----------|
| 1. 中京工業地帯 | 2. 阪神工業地帯 | 3. 瀬戸内工業地域 | 4. 京浜工業地帯 |
|-----------|-----------|------------|-----------|
- 問4 日本とオーストラリアの間で行われている貿易の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。2015年の統計において、オーストラリアからの輸入額が約4.2兆円であるのに対し、日本からの輸出額は約1.5兆円となっている状況をふまえて答えなさい。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 日本はオーストラリアから石炭や液化天然ガスなどの資源・原料を多く輸入し、自動車などの工業製品を輸出している。 | 2. 日本はオーストラリアへ鉄鉱石などの資源・原料を輸出し、オーストラリアから食料品や衣類を輸入している。 | 3. 日本とオーストラリアの貿易額はほぼ均衡しており、互いに農産物と水産物を中心に取引している。 | 4. 日本はオーストラリアに対して大幅な輸出超過となっており、その主な品目は精密機械や電子部品である。 |
|---|---|--|---|
- 問5 エネルギー資源の分布について述べた次の文のうち、原油（石油）の説明として正しいものはどれですか。産地の分布状況に着目して答えなさい。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--|----------------------------------|---|
| 1. かつては日本の福岡県にある筑豊地方などで盛んに産出されていた。 | 2. オーストラリア東部や中国東部、北アメリカ大陸東部などに産地が分布している。 | 3. ペルシャ湾沿岸や北海、メキシコ湾周辺に産地が集中している。 | 4. 鉄鋼業の原料として、ブラジルやオーストラリアの乾燥帯に多く分布している。 |
|------------------------------------|--|----------------------------------|---|
- 問6 兵庫県から大阪府の臨海部に広がる阪神工業地帯の産業構造の変化について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 明治時代の官営八幡製鉄所の設立をきっかけに鉄鋼業が発展したが、現在はIC（集積回路）などの先端技術産業に特化している。 | 2. かつては繊維工業が中心であったが、現在は金属、機械、化学工業などの重化学工業へと転換し、多様な産業が集積している。 | 3. 首都圏の巨大な消費地を背景として発展し、現在は印刷業や食料品工業が全国で最も高い割合を占めている。 | 4. 愛知県を中心とした自動車産業の圧倒的な集積により、現在、工業出荷額が日本で第1位となっている。 |
|--|--|--|--|
- 問7 太平洋ベルトを中心とした地域で、工業出荷額が他の地域に比べて格段に高い数値を示す要因として、地形的・経済的な背景から考察した説明として最も適切なものはどれですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 内陸部の広大な平野を利用して、安価な土地に大規模な工場を分散させ、労働力を確保しやすくしたため。 | 2. 各都道府県が独自に高い関税をかけることで、域内での製品消費を促進し、地元の製造業を保護してきたため。 | 3. 大型船が接岸できる良港に恵まれ、原材料の輸入と製品の輸出に有利な臨海部に巨大な工場群が形成されたため。 | 4. 冬の積雪が少ない日本海側の気候を活かし、年間を通じて安定した操業と鉄道による大量輸送が可能になったため。 |
|---|---|--|---|
- 問8 ある県の農産物産出額の統計において、茶の産出額は18億円にとどまる一方で、ブロイラー（肉用若鶏）の産出額が730億円に達し、畜産業が非常に盛んな県はどこか、次の中から選びなさい。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 宮崎県 | 2. 愛知県 | 3. 鹿児島県 | 4. 静岡県 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問9 日本の製造業において、大企業（従業員300人以上）と中小企業（従業員299人以下）の構成比を比べたとき、大企業と中小企業がそれぞれ全体の約50%ずつを占め、両者がほぼ同程度の割合となっている指標はどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|------------|---------|
| 1. 従業員数 | 2. 工場の敷地面積 | 3. 製造品出荷額等 | 4. 事業所数 |
|---------|------------|------------|---------|
- 問10 太陽光や風力、地熱といった、化石燃料を使わずに自然界に存在する力を利用し、一度利用しても比較的短期間に再生が可能で、繰り返し利用できるエネルギーの総称として正しいものはどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|--------------|-------------|--------------|
| 1. 化石燃料エネルギー | 2. 鉱産資源エネルギー | 3. 原子力エネルギー | 4. 再生可能エネルギー |
|--------------|--------------|-------------|--------------|
- 問11 国や地域の産業構造は、輸出される品目の構成に強く反映されます。一般的に、工業が発展している国と、天然資源が豊富な国における輸出の特徴について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 工業が発展している国では機械類や自動車などの工業製品が輸出の中心となり、資源が豊富な国では石炭や天然ガスなどの鉱産資源が輸出の中心となる。 | 2. 工業が発展している国では石炭や銅鉱などの鉱産資源が輸出の中心となり、資源が豊富な国では農産物やサービス貿易が輸出の中心となる。 | 3. 工業が発展している国では未加工の原料や燃料が輸出の中心となり、資源が豊富な国では高度に加工された機械類が輸出の中心となる。 | 4. どの国においても産業構造に関わらず、食料品などの農産物とサービス貿易が輸出額の大部分を占めるのが一般的である。 |
|--|--|--|--|
- 問12 都市の人口構造において「昼夜間人口比率」という言葉が使われます。この比率が100パーセントを大きく超える地域の特徴を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 都市の郊外に当たり、豊かな自然環境を求めて移住する人が多いため、夜間に滞在する居住人口が昼間の活動人口を上回っている。 | 2. 都市の中心部に当たり、オフィスビルや商業施設が集中しているため、通勤や通学によって流入する人口が居住人口を上回っている。 | 3. 住宅供給公社による大規模な住宅団地が整備された地域であり、都心へ通勤する現役世代が多いため、昼間の人口が極端に少なくなっている。 | 4. 大規模な工場が立ち並び工業地帯であり、交代制勤務のために昼間と夜間の人口が常に一定に保たれている。 |
|--|---|---|--|